

第八十一回帝國議會
衆議院

農業團體法案外一件委員會會議錄(速記)第三回

付託議案
農業團體法案(政府提出)(第四五六號)
水産業團體法案(政府提出)(第四六號)

昭和十八年二月二日(火曜日)午前十時十三分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 東郷 實君

理事白川 久雄君 理事恒松於菟二君

理事成島 勇君 理事西川 貞一君

理事濱地 文平君 理事山田 六郎君

理事吉田 正君

青山 憲三君 赤城 宗徳君

石坂 養平君 石坂 繁君

五十嵐吉藏君 馬岡 次郎君

大石 大君 岡田啓治郎君

奥 久登君 越智太兵衛君

加藤 知正君 金子彦太郎君

北 勝太郎君 小平 權一君

河野 一郎君 鈴木 重次君

杉山元治郎君 高橋壽太郎君

高田 耘平君 土屋 源市君

中井 亮作君 平野 力三君

松浦 伊平君 松原五百藏君

松山常次郎君 前川 正一君

間宮 成吉君 森部 隆輔君

山口左右平君 山口馬城次君

出席政府委員左ノ如シ

農林次官 石黒 武重君

農林省總務局長 重政 誠之君

農林省水産局長 寺田 省一君

農林書記官 藤田 巖君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

農業團體法案(政府提出)

水産業團體法案(政府提出)

第六類第八號 農業團體法案外一件委員會會議錄

第三回 昭和十八年二月二日

○東郷委員長 ソレデハ會議ヲ開キマス

○濱地委員 此ノ際參考資料ヲ要求致シマス、農林關係ノ統制會社ヘノ農林省關係ノ官吏轉出ノ狀態、農林省ノ局長課長ノ轉出在職年限表、昭和十六年度以降デアリマス、次ニ中北支大使館ノ農政室關係ノ組織、ソレカラ最近ノ離農狀態調査デアリマスガ、過去五箇年ニ於ケル離農者ノ各道府縣別數、各其ノ經營面積(田畑別)最近ニ於ケル米麥生産費、農地開發營團ノ十六年度末マデニ完了セル事業狀態、及ビ同期マデニ着手セル事業狀態(水田畑改良等別)、次ニ畜力利用農具ノ普及狀態、ソレカラ農務局發行「本邦農業要覽」ヲ再新刊ヲ委員一同ニ配付セラレタシ、支那事業變以來今日ニ至ルマデノ農業戶數異動數、其ノ内、一、專業農家ト兼業農家、二、自作、小作、自小作、次ニ支那事業變以來耕地ノ潰廢面積、以上二、三ハ本邦農業要覽ニアル分ハ不必要、次ニ昭和十七年度ニ於ケル農業所得ヨリ徵收サレル所得稅額及ビ此ノ總額ニ對スル比率、次ニ開發營團ノ着手事業面積、内一、開墾、二、改良事業、以上デアリマス

○東郷委員長 只今要求致シマシタ資料ハ、政府ニ於カレマシテ成ベク速カニ御提出アラント希望致シマス

是カラ質問ニ入りマスガ、其ノ以前ニ一、二申上ゲタイコトゴザイマス、本委員會ニハ二ツノ法案ガ併託ニナツテ居リマスガ、議事ノ進行上先ヅ第一ニ農業團體法案ニ付テノ質問ヲ行ツテ、ソレガ大體済ミマシタル水産業團體法案ニ付テノ質問ヲスルコト

ニ致シタイト存ジマス、尙ホ最初ニ農業團體法案ニ付テノ質問ヲ繼續致シマスガ、ソレニ付キマシテモ先ヅ第一ニ法案直接ノ關係事項ニ付テノ質問ヲ一應済マシテ、ソレガ済ンダラ其ノ後ニ間接的ノ關係農政諸般ノ質問ヲスル、斯ウ云フ行キ方デ議事ヲ進メテ見タイト思ヒマスカラ御諒承願ヒマス、ソレカラ重要法案デアリマスルカラ委員諸君多數御質問ガアルト存ジマスガ、ソレ等ノ點ニ鑑ミマシテ、昨日モ申上ゲマシタケレドモ、成ベル質問ノ要旨ヲ簡潔ニ御述べバテ願フコト云フコトニ致シマシテ、差當リ三十分程度ノ範圍内ニ於テ質問ヲ進メテ載クト云フコトニシテ、議事ヲ進メテ見タイト存ジマスカラ、ドウゾ其ノ御心持テ御願ヒ致シマス、尙ホ本日ハ午前農林大臣ハ他ノ委員會等ニ出席ノ必要ガアツテ見エテ居ラレマセスカラ、次官其ノ他ノ政府委員ノ説明ヲ必要トスル點ニ付テ御質問ヲ願ヒタイト存ジマス、通告順ニ依ツテ質問ヲ許シマス——問宮成吉君

○問宮委員 私ハ只今委員長ノ御話ノヤウニ關聯質問デアリマスノデ、後ニシテ、關聯質問ニ移リマシタ時ニ御許シ願ヒタイト思ヒマス

○東郷委員長 ソレデハ石坂君

○石坂(繁)委員 私ハ去ル三十日ノ本會議ニ於キマシテ、農業團體法案ニ關シマシテ質疑ヲ致シタデアリマスガ、更ニ委員會ニ於キマシテハ、先日ノ質疑ヲ擴張致シ戦力増強ノ一翼トシテノ日本農村ノ使命ノ點カラ、又本案ガ目的ト致シテ居リマスル食糧、其ノ他ノ農產物確保ノ國家的使命完遂ト云フ立場カラ、新農業團體ヲ中心ニシテ、現下ノ重要ナル農業政策ニ於キマシテ、農林大臣ノ御所見ヲ承ル積リデ居ルノデアリマスルガ、只今委員長カラモ特ニ御注意ガゴザイマシタノデ、右申シマシタ農政全般ニ關スル私ノ質疑ハ後日ニ留保ヲ御許シ願ヒマシテ、本日ハ取敢ズ條文ニ直接關係ノアル若干ノ點ニ付テ質疑ヲ致シタイト存ジマス

先日資料トシテ「命令事項」ヲ載キマシテ、審議ノ上ニ非常ニ便利ニナツテ居リマスルガ、本日ハ此ノ條文ト勅令事項トヲ對照致シナガラ、逐條的ニ若干、次官カラデモ總務局長カラデモ結構デアリマスガ、伺ヒタイト思ヒマス、第一ハ第六條ノ關係デアリマス、之ニ依リマスルト「農業團體ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ登記ヲ爲スコトヲ要ス」ト云フコトニナツテ居リマス、此ノ勅令事項ノ中ニ其ノ登記ニ關スル事項ガ示サレテ居リマス、ソコデ之ニ關シマシテ此ノ登記ノ時期デアリマスガ、示サレタル勅令事項ニ依リマス「農業團體ハ設立ノ認可アリタルトキハ各事務所ノ所在地ニ於テ設立ノ登記ヲ爲ス」斯ウ云フコトニナツテ居リマス、勿論ハ遲滞ナク登記スルコトガ必要デアラウトハ存ジマスケレドモ、他ノ法律、例ヘバ民法ノ法人登記ノ如キ、或ハ商法ノ會社ノ登記ノ如キ、何レモハ一週間デアルトカ二週間デアルトカ云フ風ニ期限ガ切ツテアリマス、是ハソレ等ノ點ニ付テハドウ云フ風ニ御記載ニナル豫定デアリマセウカ、

ニ致シタイト存ジマス、尙ホ最初ニ農業團體法案ニ付テノ質問ヲ繼續致シマスガ、ソレニ付キマシテモ先ヅ第一ニ法案直接ノ關係事項ニ付テノ質問ヲ一應済マシテ、ソレガ済ンダラ其ノ後ニ間接的ノ關係農政諸般ノ質問ヲスル、斯ウ云フ行キ方デ議事ヲ進メテ見タイト思ヒマスカラ御諒承願ヒマス、ソレカラ重要法案デアリマスルカラ委員諸君多數御質問ガアルト存ジマスガ、ソレ等ノ點ニ鑑ミマシテ、昨日モ申上ゲマシタケレドモ、成ベル質問ノ要旨ヲ簡潔ニ御述べバテ願フコト云フコトニ致シマシテ、差當リ三十分程度ノ範圍内ニ於テ質問ヲ進メテ載クト云フコトニシテ、議事ヲ進メテ見タイト存ジマスカラ、ドウゾ其ノ御心持テ御願ヒ致シマス、尙ホ本日ハ午前農林大臣ハ他ノ委員會等ニ出席ノ必要ガアツテ見エテ居ラレマセスカラ、次官其ノ他ノ政府委員ノ説明ヲ必要トスル點ニ付テ御質問ヲ願ヒタイト存ジマス、通告順ニ依ツテ質問ヲ許シマス——問宮成吉君

○問宮委員 私ハ只今委員長ノ御話ノヤウニ關聯質問デアリマスノデ、後ニシテ、關聯質問ニ移リマシタ時ニ御許シ願ヒタイト思ヒマス

○東郷委員長 ソレデハ石坂君

○石坂(繁)委員 私ハ去ル三十日ノ本會議ニ於キマシテ、農業團體法案ニ關シマシテ質疑ヲ致シタデアリマスガ、更ニ委員會ニ於キマシテハ、先日ノ質疑ヲ擴張致シ戦力増強ノ一翼トシテノ日本農村ノ使命ノ點カラ、又本案ガ目的ト致シテ居リマスル食糧、其ノ他ノ農產物確保ノ國家的使命完遂ト云フ立場カラ、新農業團體ヲ中心ニシテ、現下ノ重要ナル農業政策ニ於キマシテ、農林大臣ノ御所見ヲ承ル積リデ居ルノデアリマスルガ、只今委員長カラモ特ニ御注意ガゴザイマシタノデ、右申シマシタ農政全般ニ關スル私ノ質疑ハ後日ニ留保ヲ御許シ願ヒマシテ、本日ハ取敢ズ條文ニ直接關係ノアル若干ノ點ニ付テ質疑ヲ致シタイト存ジマス

先日資料トシテ「命令事項」ヲ載キマシテ、審議ノ上ニ非常ニ便利ニナツテ居リマスルガ、本日ハ此ノ條文ト勅令事項トヲ對照致シナガラ、逐條的ニ若干、次官カラデモ總務局長カラデモ結構デアリマスガ、伺ヒタイト思ヒマス、第一ハ第六條ノ關係デアリマス、之ニ依リマスルト「農業團體ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ登記ヲ爲スコトヲ要ス」ト云フコトニナツテ居リマス、此ノ勅令事項ノ中ニ其ノ登記ニ關スル事項ガ示サレテ居リマス、ソコデ之ニ關シマシテ此ノ登記ノ時期デアリマスガ、示サレタル勅令事項ニ依リマス「農業團體ハ設立ノ認可アリタルトキハ各事務所ノ所在地ニ於テ設立ノ登記ヲ爲ス」斯ウ云フコトニナツテ居リマス、勿論ハ遲滞ナク登記スルコトガ必要デアラウトハ存ジマスケレドモ、他ノ法律、例ヘバ民法ノ法人登記ノ如キ、或ハ商法ノ會社ノ登記ノ如キ、何レモハ一週間デアルトカ二週間デアルトカ云フ風ニ期限ガ切ツテアリマス、是ハソレ等ノ點ニ付テハドウ云フ風ニ御記載ニナル豫定デアリマセウカ、

尙ホ他ノ法律ニ於キマシテハ、其ノ期間ヲ經過致シマシタ場合ニ於キマシテハ過料等ノ制裁ガゴザイマス、詰リ意リ料ノ制裁ガアル、農業團體法ノ登記ヲ怠リマシタ場合ニ過料等ノ制裁ガアルコトハ是ハ好マシカラザルコトニ存ジマス、サリトテ何時マデモ登記ヲシナイデ置クト云フコトモ面白クナイト思フノデアリマスルガ、此ノ點ニ關シマシテ當局ノ今日ノ御考ヘヲ承ツテ置キタイト思ヒマス

○石坂(繁)委員 御參考ニ差上ゲマシタ此ノ命令事項中ニモゴザイマスヤウニ、第六條ノ團體ノ設立ノ登記ハ囑託登記デアリマス、設立ノ認可ヲ致シマシタ行政官廳ヨリノ囑託ニ依リマシテ、登記ガ致サレルノデアリマシテ、其ノ關係カラ申シマスルト、申請登記ノ場合ト趣ヲ異ニスルノデアリマス、尙ホ此ノ登記ノ手續ノ詳細ニ付キマシテハ能ク研究ヲ致シマスガ、左様ナ趣旨デゴザイマスノデ、今ノ罰則等ノ關係ニ付キマシテハ、先ヅ左様ナ憂ヒハナイト考ヘルノデアリマス

○石坂(繁)委員 第七條、此ノ勅令事項ニ依リマス、任意加入者ハ豫告ニ依ツテ脱退スルコトガ出來ルコトニナツテ居リマスガ、豫告ノ期間ハドノ位ノ期間ヲ置イデ豫告シテ宜シイカ、尙ホ脱退ニ關シマシテハ、任意加入者ガドノ脱退スルコト云フコトニナリマス、預金ノ引出シト云フヤウナコトモ出テ來ル、或ハサウ云フコトニナリマス、此ノ團體ニ對スル所ノ信用ト云フヤウナモノニモ影響スルト思ヒマスガ、ソレ等ノ點ニ關シマシテ、ドウ御考ヘデアリマスカ

○石坂(繁)委員 從來ノ此ノ種會員ノ脱退

ノ例ニモ依リマシテ、六箇月程度ノ豫告ヲ以テ脱退ヲ認ムルコトニ致シタラドウカト考ヘテ居リマス

○石坂(繁)委員 第十四條ノ關係デ、「一定面積未滿ノ土地ニ於テ耕作ヲ行フ者」、一定面積未滿ノ蠶種ヲ掃立テ養蠶ヲ行フ者」斯ウ云フコトニナツテ居リマス、大變小サイコトヲ伺フヤウデアリマスガ、ドノ位ノコトヲ御示シニナル豫定ニナツテ居リマスカ

○重政政府委員 大體現在農會法關係ニ於キマシテ其ノ限度ヲ決メテ居リマスガ、例ヘバ一段歩未滿ノ耕地ヲ耕作スル者デアルトカ、或ハ蠶種一枚デアリマシタカ、色々サウ云フ一定面積未滿ノ蠶種ヲ掃立テ養蠶ヲ行フ者デアリマス、トカ云フヤウナコトガ、現行ノ農會關係ニモアリマスガ、大體サウ云フ制限ヲ踏襲シテ參リタイト斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス、唯新シイ問題ト致シマシテハ、畜産ノ關係ニ於キマシテ、ヤハリ養雞ノ雞ノ數等ニ付テモ、同様ナ趣旨ノ制限ヲ設ケテ行キタイ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス

○石坂(繁)委員 同第十四條デアリマスガ、此ノ十四條ノ第一項ノ但書中ノ「勅令ヲ以テ定ムル」者ト云フノハ、是ハ勅令要綱ニ依ツテ分リマシタ、所ガ其ノ第三號ニ「前二號ノ者ニ準ズル者ニシテ勅令ヲ以テ定ムルモノ」斯ウ云フノガアルノデアリマスガ、此ノ「前二號ノ者ニ準ズル者」ト云フコトノ内容ガハツキリ致シテ居リマセス、其ノ點ヲ御示シ願ヒタイ

○重政政府委員 是ハ市町村農會ノ地區内ノ耕地、綠野又ハ原野ニ付テ、永小作權又ハ小作權ヲ有スルヤウナ者ヲ意味スルノ

デアリマス、又森林組合ニ入ラナイ、大キイ森林所有者ハ別デアリマスガ、地元ノ森林所有者デ森林組合ニ入ツテ居ラヌト云フヤウナ者モ、ヤハリ此ノ勅令ヲ以テ定メタラドウカト、斯ウ云フ風ニ現在ノ所考ヘテ居リマス

○石坂(繁)委員 第十五條ノ第一項第二號ノ「其ノ他命令ヲ以テ定ムル者」ハ是ハ御示シノ勅令要綱分リマシタ、第一號ノ「其ノ地區内ニ住所ヲ有スル者ニシテ農業ニ密接ナル關係ヲ有スルモノ」是ハ大體常識的ニ分リマスガ、ドウ云フモノヲ豫想サレテ居リマスカ、是モ一ツ御示願ヒタイ

○重政政府委員 私共ガ現在豫想シテ居リマスモノハ、所謂農業労働者デアリマス、農産物ノ集荷ニ當ツテ居ル商人其ノ他ノ者デアリマストカ、或ハ炭焼ト云フヤウナ者ヲ豫想致シテ居リマス

○石坂(繁)委員 條文ガ一寸前ニ歸リマスガ、十一條第二項ノ四號ニ「農業ニ從事スル者ノ福利増進ニ關スル施設」ト云フノガアリマス、然ルニ同項ノ第一號、第二號ハ何レモ「會員ニ必要ナル」云々ト云フコトニナツテ居リマスガ、四號ニ「會員」トシテナイノハ特別ノ意味ガアルノデアリマセウカ、此ノ點ニ付テ、或ハ「會員」トシタ方ガ適當デハナイカト思ヒマスノデ、一寸御伺ヒ致シマス

○重政政府委員 是ハ特ニ意味ガアル譯デアリマセウカ、大體ニ於キマシテ福利増進施設ハ農業團體トシテハ現在ハ農會系統ヲ致シテ居リマス、農會系統ノ方デハヤハリ農業ニ從事スル者ノ福利増進ニ關スル施設ヲ致スト云フコトニナツテ居リマスノ

デ、サウ云フ風ニ致シタノデアリマス、是ガ利用ニ付キマシテハ、會員タル者ハ農業ニ從事スル者デナクトモ平等ニ利用ガ出來ルコトデアリマスノデ、實際問題トシテハ御質問ノ御趣旨ノ目的ハ、如何様ニ書カレテモ達セラレルコトト考ヘマス

○石坂(繁)委員 ツレカラ任意加入者ニ關シテデアリマスガ、任意加入者ノ總會ノ決議權ニ制限ヲ加ヘラレルヤウナコトガアリハシナイカ、第二十條ニ依リマス「會員ハ總會ニ於テ各一個ノ議決權ヲ有ス」ト云フコトデ、是ハ分リマス、唯疑問ガ起リマスノハ「但シ會則ヲ以テ別段ノ定ヲ爲スコトヲ得」ト云フ但書ガ附イテ居リマス、此ノ但書ニ依ツテ見ルト、或ハ此ノ點ガ任意加入者ニ對スル決議權ノ制限等ヲ意味シテ居ルノデハナイカト云フヤウナコトモ考ヘラレルノデアリマス、其ノ點ニ關シテ明カニ致シテ置キタイト思ヒマス

○重政政府委員 第二十條ノ但書ハ、他ノ組合法令等ニモ斯ウ云フ例ガアルノデアリマス、此ノ趣旨ハ會員ノ口數制限等ニモ關係ガアルノデアリマスガ、大體現在ノ所、吾等ト致シマシテハ成ベク此ノ出資口數ニ付テノ制限モ設ケタクナイト云フ考ヘヲ持ツテ居リマス、隨テ口數ニ依リマシテ若干ノ決議權ニ差等ヲ設ケル場合モ豫想致サナケレバナラス、斯ウ云フ考ヘカラ、此ノ但書ニ於キマシテ、口數ノ如何ニ依ツテハ會則等デ之ヲ規定スル場合ニ於テハ、或ル限度ノ表決權ヲ多ク持タシメルト云フ趣旨ニ於テ之ヲ書イタノデアリマス、當然加入者ト任意加入者トノ間ニ決議權ノ關係ヲ二、三ニ致スト云フヤウナ考ヘハ持ツテ居リマセス、唯當然加入者ハ農業者ニ相成リマス

ノデ、此ノ團體ハ農業者ニ對シテハ特ニ特別ナル經費賦課ノ方法等モ考ヘラレコトト思ヒマスノデ、サウ云フ場合ニ於テハ任意加入者ガ多少ソレニ付テ關心ヲ持タナイヤウナ、關係ノナイヤウナ事項ニ付キマシテハ、或ハ便宜ノ處置ヲ實際問題トシテハ執ラレカモ知レヌト思ヒマスガ、原則的ニ申シマスレバ全然平等ノ取扱ニ相成ルト考ヘマス

○石坂(繁)委員 只今ノ總務局長ノ御答辯デハツキリ致シマシタ、私ハ只今ノ但書ノ問題ト十九條ノ命令事項トヲ對照致シマシテ、更ニ三十二條ニ特別賦課ノ規定ガアリマスガ、是デハ「會員ノ全部又ハ一部ニ對シ」ト云フコトニナツテ居リマスノデ、或ハ私ハ其ノ任意加入ノ人ニ特ニ決議權ノ制限ナリ、或ハ特別賦課ノ責任、斯ウ云フ風ナコトニナルノデハナイカト思ヒマス、若シサウ云フコトニナリマスト任意加入ノ人ノ脱退ヲ誘發スルト云フコトニナリハシナイカト云フ懸念モ考ヘラレマスノデ伺ツタノデアリマスガ、此ノ三十二條ノ「全部又ハ一部」ト云フコトハ、是ハ特ニ任意加入者ヲ指シタモノデナイト云フ風ニ了解シテ宜シウゴザイマスガ

○重政政府委員 三十二條ノ特別ノ賦課金ノ規定ヲ致シマシタ趣旨ハ、御承知ノ通り同一府縣内ニ於テモ各郡ノ團體ニ依リマシテ、或ル郡ニ於テハ特ニ蔬菜果實ノ加工ヲ中心ノ事業トシテヤツテ居ル、或ハ特ニ養雞ヲ郡團體ノ中心事業トシテヤツテ居ルトカ、色々サウ云フ特殊ノ例ガアルト考ヘマス、隨テ其ノ縣下ノ地方ニ依ツテ事業ガ全然平等ノ事業デナイ、特殊ノ事業ヲ營ムト云フヤウナモノガアリマス、而モソレハ特

ニ、其ノ地方ニ於テハ現在ニ於テモ相當ナ經費ヲ賦課シテ、之ヲ負擔シテヤツテ居ルト云フヤウナ事例ガ相當アラウト思フノデアリマス、隨テサウ云フ地方ニ於キマシテハ、此ノ三十二條ノ規定ニ依リマシテ、特別ノ賦課金ヲ一般ノ賦課金ノ外ニ課ケテ、地方ノ實情ニ即シテ其ノ事業ヲ行ヒ得ルト云フコトヲヤラセタイ爲ニ、此ノ規定ヲ設ケタノデアリマシテ、其ノ意味ニ於キマシテ「會員ノ全部又ハ一部ニ對シ」ト斯ウ規定ヲ致シタノデアリマス、是ハ任意加入者、當然加入者ニ依ツテ差別ヲ附ケル積リハゴザイマセヌ、唯問題ハ其ノ特殊ナル事業ノ内容如何ニ依リマシテ、或ハ農業者ノミニナル場合モアラウカト思ヒマスケレドモ、要スルニソレハ事業ノ内容ニ依ツテ決定ヲセラルベキ問題デアルト斯様ニ考ヘテ居リマス

○石坂(繁)委員 能ク分リマシタ——委員長、私ノ逐條的ノ質疑ハ是デ終ツタノデアリマス、冒頭ニ申上ガタ點ニ付テ、後日適當ノ機會ニ發言ノ機會ヲ與ヘテ戴キタイ部隆輔君

○東郷委員長 宜シウゴザイマス——森

○森部委員 四、五ノ問題ニ付キマシテ當局ノ御見解ヲ承リタイト思ヒマス、第一ハ町村長ノ兼務ノ問題デアリマスガ、町村農業會ノ會長、所謂農業團體ノ會長ヲ町村長ヲ以テ兼任セシムルコトノ可否ニ付キマシテハ、色々ナ議論ガ檢討セラレテ居ルト存ジマス、而シテ内務、農林兩省間ニ於キマシテモ、是亦數次ノ折衝ヲ重ネテ居ラレルヤニ聞イタノデアリマシテ、過日本會議ニ於テ内務大臣ノ答辯ヲ承リマス、町村長ガ適任デアアル限リ町村長ニ農業團體長ヲ兼任セシムル方針デアルト云フコトニ、兩省ノ

意見ガ一致シタト云フヤウナ答辯ト私ハ拜承致シタノデアリマス、吾々ガ實際ノ地方ノ實情ヲ見マス、最近時局下ニ於キマシテ、色々ナ町村長ノ事務方面ガ煩瑣複雜ヲ極メテ居リマス、而シテ又一面ニ於テハ町村長ハ町村長トシテノ儀禮的仕事ガ相當多クナツテ參ツテ居リマス、例ヘテ申上ゲマスレバ、戰死者ノ遺骨ヲ御迎ヘスルトカ、或ハ出征者ヲ御送りスルトカ、色々ナ斯ウ云フ方面ノ町村長ノ時間ヲ要シマスル方面ノ仕事ガ相當殖エテ居リマス、然ルニ又一面現在町村ノ農業團體デアアル農會長ノ如キモ、相當生産統制令デアルトカ、或ハ色色ナル方面ノ供出デアルトカ、物資ノ配給デアルトカ、各種ノ農業團體トシテノ仕事ガ最近頗ニ加ハツテ來テ居リマスガ、今回更ニ新シク農業團體ガ統合セラレマシテ、町村ニ於キマシテ産業組合ト農會トガ一つ

ノ團體ニナリマスレバ、更ニ町村農業會ノ仕事ガ大變其ノ量ニ於テ殖エルコトハ、是ハ必然デアリマス、而シテ町村農會ノ實際ノ仕事ヲ吾々ガ見マス、技術的方面ノ指導ハ町村ノ農業技術員デ大體行ケルノデハナイカト思ヒマスガ、例ヘバ勞務ノ調整デアルトカ、或ハ作付ノ統制デアルト云フヤウナ方面ハ、年若イ技術員デハ村民ニ對シテノ押シガ利カヌ、ヤハリ町村内ニ於ケル實祿、社會的地位、色々ナ意味ニ於ケル所謂村民ニ對シテノ無理ト云ヒマスガ、押シノ利ケル町村農業會ノ會長或ハ副會長ト云フヤウナ首腦部ガ陣頭ニ立ツテ指揮スルコトガ、町村農業會ノ活動ヲ最モ旺盛強化ナラシムル所以デアルト考ヘテ居リマス、斯ウ云フ點カラ言ヒマシテ、私ハ出來限リ新タニ出來マスル町村農業會ノ團體長ハ

少クトモ適任者ヲ得ル限リ專任ノ町村農業會ノ會長ヲ求メルコトガ適當デハナイカ、前申シマスヤウニ、町村長ハ大變町村長自體ノ仕事ニ於テモ忙シクナツテ參ツテ居リマス際ニ、原則トシテ町村長ヲシテ兼任セシムルト云フガ如キハ、寧ロ系統農業團體ノ第一線ノ團體デアアル町村農業會ノ活動ヲシテ、御期待ニ副ハヌヤウナ結果ニ相成ルノデハナイカト思フノデアリマス、是ハ別段法令ニハ兼任問題ハ何等決メテナイヤウデアリマスルガ、今後ノ實施ニ當リマシテハ、農林省ト致シマシテハ適任ヲ得ル限リ專任者ヲ求メテ、出來ルダケ常勤ト云フヤウナ形ニ於テ町村農業會ノ會長或ハ副會長ガ自ラ陣頭ニ立ツテ、町村農業會ノ機能ヲ完全ニ發揮スルヤウニ御指導セラレル御意思ガナイカ、此ノ邊ニ對スル御見解ヲ承リタイト思フノデアリマス、殊ニ私ハ此ノ問題ニ付キマシテ非常ナ關心ヲ持ツテ居リマスルコトハ、我ガ福岡縣ノ如キハ縣下三百九十箇村バカリノ中、町村内ニ於テ農業者ハ僅カニ五%若シクハ一割程度シカ見ナイト云フヤウナ村ガ、北九州ニ於テハ多イノデアリマス、斯ウ云フ町村ニ於キマシテハ名前ハ村デアツテモ、實際ハ農業者ハ一割モナイト云フヤウナ狀態デアツテ、町村長ハ農業ニ關スル關心ト云フモノガ至ツテ薄イ、又町村長トシテノ政治ノ對象ハ農業者以外ノ人ガ大部分デアアル、隨テ斯ウ云フ所ニ於テモ町村長ガ農業團體長ヲ兼ネルノダト云フヤウナ指導方針デ行クコトハ、前申シマスヤウニ農業團體ノ機能ヲ十分ニ發揮スルコトガ、私ハ甚ダ出來兼ネルト存ズルノデアリマス、斯ウ云フヤウナ點カラ致シマシテ、前申シマスヤウニ少クトモ出來ルダケ適任者ノアル限リ、

此ノ町村農業會ノ會長ヲ町村長ト必ズシモ兼ネナイ、斯ウ云フヤウナ方針デ行クコトガ結構デハナイカト存ジマスガ、當局ノ御見解ヲ御尋ネ致シタイト思ヒマス

ソレカラ第二ハ農事實行組合、部落農業團體ノ加入ノ問題デアリマスガ、今度ノ新農業團體ノ會則ヲ見マス、所謂農事實行組合ノ團體加入ト云フコトハ、創設セラレテ居ルヤウデアリマス、養蠶實行組合亦然リデアリマス、私ガ申上ルマデモアリマセスガ、農村ニ於ケル色々ナ實行ノ衝ニ當ツテ居ルモノハ、農事實行組合デアリマス、農産物ノ供出或ハ農業資材ノ配給、若シハ肥料ノ配分ヲナス等、或ハ共同作業若シハ共同炊事、其ノ他諸般ノ農村ノ色々ナ施策ヲ、農事實行組合ニ於テ實踐致シテ居ル現狀デアリマス、農事實行組合ハ私ノ地方ニ於キマシテハ、殆ド縣下五千數百ノ農事實行組合ガ全部法人化シテ居リマシテ、現在産業組合等ニ全部團體トシテ加入ヲ致シテ居ル實情デアリマス、隨テ法人化シテ居リマスルノデ、或ハ農事實行組合ガ共同デ營造物ヲ持ツテ居ル場合モアリマス、又共同デ資金ヲ産業組合カラ仰イデ居ル場合モアリマス、又共同デ農産物ノ供出ヲシテ居リマシテ、直チニ其ノ供出シタ代金ガ産業組合ノ振替貯金ノ口座ニ入ツテ居ル場合モアリマス、先般承リマスト今回自作農創設ニ必要ナル資金ノ貸出ヲ、從來町村債ト云フ形ノ下ニ轉貸シテ農業家ニ貸出サレテ居リマシタノガ、今回ハ農事實行組合ニモ貸出ガ出來ルヤウニ、規定ガ改正相成ルヤウニ承ツテ居リマス、斯ウ云フコトハ洵ニ結構ナコトデアリマスガ、斯ウ云フ自作農資金ノ取扱ト云フヤウナ點カラ致シマシテモ、私ハ農事實行組合

ノ新農業團體ニ對スル團體加入ガ必要デハナイカト考ヘルノデアリマス、今回ノ此ノ新農業團體ノ法律或ハ勅令要綱等ニモ之ヲ見ナイコトハ、洵ニ遺憾ニ存ズルノデアリマス、當局ハ農事實行組合、養蠶實行組合等ノ團體加入ノ必要ヲ御認メニナラナイノカ、如何ナル理由ニ依ツテ是ガ削除セラレテ居リマスカ、御方針ナリ御見解ナリヲ此ノ機會ニ承リタイト存ジマス

次ハ第三ニ上級農業團體ト下級農業團體トノ間ニ於ケル關係、指導監督或ハ監査、斯ウ云フ方面ニ付キマシテ、如何ナル御方針ヲ以テ指導セラレル御方針デアリマスカ、御尋ネ致シタイト存ジマス、今度ノ法令ヲ見マスルト、横ニ主トシテ行政官廳ガ新タナル農業團體ノ監督指導ノ全權ヲ握ツテ居ルヤウデアリマス、又人事上ニ於キマシテモ、農業團體ノ首腦部デアル主ニ會長デアリマスガ、是等ニ付キマシテハ認可、或ハ任免ト云フヤウナ形式ニ於テ行政官廳ガ選任ノ權ヲ握ツテ居ルヤウデアリマスルガ、此ノ農業會ガ系統的ニ中央ヨリ町村ニ至ル系統團體デアル以上、上級農業團體ガ下級ノ農業團體ニ對シテ或ル程度ノ、少クトモ國策ヲ案サナイ國家ノ方針ニ反セザル範圍ニ於テ其ノ活動ヲ系統的ナラシメ、又效果アラシメル爲ニ、上級農業會ハ下級農業會ニ對シテ人事上ニ付キ若クハ事業上ニ付テ監督或ハ監査等ヲナスコトモ必要デハナイカト存ズルノデアリマスルガ、之ニ對シテ當局ノ御見解ヲ承リタイト思ヒマス

ソレカラ新農業團體ガ農業者ヲ正會員トシ、農業ニ密接ナル關係ノアル者等ヲ任意會員ニ致シマシテ、大體ニ於テ職能的團體デアリ、同時ニ又出來ルダケ地域的ノ性質ヲ尊重スル團體デアルト云フヤウニ承ツテ居リマス、此ノコトハ又當然カト存ジマスガ、地方ニ依ツテハ、町村内ニ於キマシテ農業者以外ノ者ガ多數ヲ占メテ居ツテモ、地域的デアアルガ爲ニ其ノ全部ヲ會員タラシメタ結果、却テ農業團體トシテノ機能ヲ發揮スルコトニ十分デナク、何トナク弱體化スルヤウナ嫌ヒガアル地方ガ必ズシモナイデハナイト存ズルノデアリマス、農業團體ノ強力ナル活動ヲ期待スル爲ニ、今申シマシタヤウナ特殊ノ場合ニ於テハ、又格別ノ考慮ヲ拂フ必要ガアルノデハナイカト存ズルノデアリマス、之ニ對スル御見解ヲ承リタイト存ジマス

次ニ郡支部長ハ理事ヲ以テ郡支部長トスルト規定シテアルヤウデアリマスルガ、サウシマス支部ガ十トカ二十トカ縣内ニアリマスレバ、理事ト云フモノガ澤山ニナツテ參リマシテ、又此ノ支部長ガ理事デアアルガ爲ニ、自分ハ役員ダ、斯ウ云フヤウナ考ヘデ何ダカ大變自分ハ偉イノダト云フヤウナ氣持デ、却テ其ノ會長ノ統制ニ支障ヲ來スヤウナ場合ガアルノデハナイカト云フコトヲ惧レルノデアリマスガ、支部長ヲ理事トセラレタ理由ニ付キマシテ御尋ネ致シタイト存ジマス、ソレカラ第八十七條ニ、地方農業會ノ設立ニ付テ行政官廳ハ設立委員ヲ命ズルコトガ出來ルト云フヤウナ條文ガアルヤウデアリマスガ、此ノ場合ニ於ケル行政官廳ハ、例ヘバ府縣ノ農業會ノ場合ニ於テハ行政官廳ハ農林大臣ヲ指サスモノデアリマスカ、或ハ地方長官デアリマスカ、大體ノ御見解ヲ承リタイト存ジマス、一應ソレダケ御答ヘヲ願ヒマス

○石黒政府委員 只今ノ森部委員ノ御質問ニ對シテ御答ヘ致シマス、農業團體長ト市町村長トノ關係ニ付キマシテハ、純農村或ハ主トシテ農業ヲ以テ立チマスル町村等ニ於キマシテハ、其ノ住民ノ最モ利害ノ大ナル問題ハト申セバ、ヤハリ其ノ町村内ニ於ケル農業關係ノ振興發展ノ問題ダラウト思ヒマス、隨ヒマシテ苟クモ其ノ町村ノ長トシテノ町村長デアレバ、ソレ等ノ問題ニ付キマシテモ非常ナ關心ヲ持ツノハ當然デアリマシテ、町村自治モ亦其ノ方面ノ發展ノ爲ニ圖ルト云フ氣分ヲ以テ運営サレルモノト感ズルノデアリマス、農業團體ト致シマシテモ、又其ノ住民ノ最モ利害休戚ノ大デアアル所ノ其ノ業ニ付テノ團體デアアル以上ハ、町村自治ノ運営ガ其ノ方面ニ色々ト影響ガアル、左様ナ場合ニ於テ町村自治ニ付テモ非常ナ關心ガ持タレルコトト思ヒマス、要シマスルニ、純農村或ハ農ヲ主トシテ立ツ所ノ町村ニ於キマシテ、町村ノ自治モ、又農業團體ノ事業モ、其ノ終局ノ狙フ所ガ必ズシモ區別ハサレナイノデアリマシテ、其ノ間ニ非常ニ密接ナル關係ガアルノデアリマス、ソコデ現在ニ於キマシテモ、全國見渡シマシテモ、町村長或ハ農業關係團體長ノ兩者ヲ兼ネテ立派ナ治績ヲ擧ゲテ居ラレ、ル場合モ少クナイノデアリマス、今回主トシテ農業、或ハ産業組合其ノ他ノ系統農業關係團體ヲ打ツテ一丸トシテ茲ニ農業團體ヲ作ルニ當リマシテモ、町村自治ノ團體トノ關係ニ付テ、勿論政府トシテハ考慮ヲ拂ハザルヲ得ナカツタノデアリマスガ、此ノ場合ニ於キマシテ從來ノ實績ニ鑑ミマシテ見マスルニ、場合ニ依リマス、是ハ實際ノ例ヲ見マスルト事情ハ色々アリマシテ一概ニハ申セナイノデアリマスガ、事情許ス

場合ニ於キマシテハ、此ノ兩者ヲ兼ネラレテ非常ニ好成績ヲ擧ゲテ居ラレル場合モアルノデアリマスノデ、吾々ト致シマシテハ、極ク要約シテ申シマスルト、獨リ團體長或ハ町村長タル此ノ人ノミノ條件ニ限ラズ、其ノ外更ニ諸般ノ事情ヲ見マシテ、諸般ノ事情ニ照シテ適當デアルト考ヘラレル場合ニ於キマシテハ、町村長ト團體長トヲ兼ネテ參ルコトガ結構デアルト云フ風ニ考ヘマシテ、左様指導致シテ參リタイト思ヒマス、先程森部委員ノ御話モアリマシタ通り、町村長ノ仕事モ中々繁劇ヲ加ヘテ參ツテ居リマスシ、又團體ノ仕事モ、從來ノ農會或ハ産業組合ノ一ツノヲ取リマシテモ中々容易ナラスノデアリマスカラ、今後更ニソレガ統合致シマスレバ、愈、團體長ノ責任モ加重セラレマス、斯様ナ場合ニ於キマシテ、假ニ團體長其ノ人ガ町村長モ相兼セタ場合ニ於キマシテ、町村ノ事務モ團體ノ事務モ巨細トナク自ラ見ルト云フヤウナコトハ、恐ラク中々困難ヲ實行不可能デアラウト思ヒマス、ドウ致シマシテモ團體長其ノ人ガ立派ナ人物デアルト同時ニ、更ニ之ヲ眞ニ信頼スルニ足ル輔佐スル者ガアツテ、或ハ團體或ハ町村ノコトヲ、其ノ團體長ノ十分ナル意思ヲ尊重シテ其ノ下デ働クト云フヤウナ者ノアルト云フコトモ、此ノ兼任ヲスル場合ニ於ケル一ツノ實際的ナ重要ナ要件デアラウカトサヘモ考ヘテ居ルヤウナ譯デアリマス

隨ヒマシテ御質問ノ最後ニ於テ、必ズシモ兼ネナイ方ガ宜イデハナイカト云フヤウナ御話モアリマシタガ、勿論左様ナ風ニ考ヘテ居ルヤウナ次第デゴザイマス
部落團體ノ加入ノ問題ニ付キマシテハ、

御承知ノヤウニ農事實行組合ガ産業組合ニ加入スル制度ガ設ケラレマシタ経緯ヲ見マシテモ、此ノ産業組合ニ對シテ個々ノ零細ナ農家ガ出資ヲ致シテ加入スルコトノ困難ナル場合ニ於キマシテ、茲ニ團體加入ノ途ヲ開キマス、ソレガ極メテ容易ニ加入出來テ、サウシテ産業組合ノ事業ノ利益ヲ享受スルコトガ出來ルト云フヤウナ趣旨カラ開カレタヤウニ存ジテ居ルノデアリマスガ、今度ノ場合ニ付テ見マスルト、御承知ノ如ク農業者ハ當然加入デ農會ニ加入致シマスノデ、農事實行組合ノ如キモノニ付テ考ヘマスルニ、其ノ農事實行組合ノ組合員ハ既ニソレレニ於テ農會ニ加入致シテ居リマス、隨ヒマシテ團體自體ハ加入致シマセヌデモ、團體員總テ加入シテ居ルト云フコトニ相成ル譯デアリマシテ、若シ假ニ農事實行組合モ更ニ加入サセルト云フコトニナレバ二重加入ニナル譯デアリマス、勿論其ノコトハ從來カラ産業組合制度ニ於テモアツタ譯デアリマステレドモ、此ノ際ト致シマシテハサウ云フコトマデ致シテ二重ノ加入ヲサセル必要ハナカラウ、又一面ニ於キマシテ農事實行組合等ニ對シマシテハ、農會ノ事業ニ付テ員外利用其ノ他ノ途ヲ講ジマスルナラバ、又農會ト農事實行組合トノ事業上ノ運籌連絡ニ於キマシテモ支障ハナカラウ、斯様ニ考ヘマシテ加入ノ途ヲ講ジナカツタノデアリマス
次ニ農會ノ上級、下級ノ團體間ノ關係ニ付キマシテノ政府ノ指導方針ノ御尋ネデゴザイマスガ、申スマデモナク農會ハ系統團體デアリマス、系統團體デアルト云フコトノ中ニ既ニ上級、下級ノ關係ノ性質ガ現ハレテ居ルト思フノデアリマスガ、勿論

上級團體ハ飽クマデモ下級團體ヲ指導シテ參ラナケレバナリマセヌ、今回ノ法令ノ條項ノ中ニ必ズシモ左様ナ言葉ガ現ハレテ居リマセヌケレドモ、是ハモウ系統團體ト云フ一ツノ全體ノ組織ノ上ニ當然含マレテ居ルト吾々ハ考ヘテ居ルノデゴザイマス、從來例ヘバ産業組合中央會ノ事業ト致シマシテ、此ノ下級團體ノ指導或ハ連絡ト云フヤウナコトガ目的トシテ擧ゲラレテ居ルノデアリマスガ、是ハ産業組合中央會ガ其ノ事自體ノ爲ニ特ニ設ケラレタル中央團體ナルガ故ニ、殊更ニソレガ擧ゲテアルノデアリマスガ、左様ナ事柄ハ今後中央ノ農會ガ地方ノ農會ニ對シ、或ハ府縣段階ニ於ケル農會ガ市町村農會ニ對シテ、當然持ツベキ職能デアラウト私共考ヘテ居リマス、左様ナ趣旨ニ於キマシテ、上級、下級ノ關係ヲ指導致シテ參リタイト政府ニ於テハ考ヘテ居リマス、唯御質問ノ中ニ監査ヲ上級ノモノガ下級ニ對シテヤルト云フヤウナコトヲ認メル必要ハナイカト云フ御話デゴザイマシタガ、此ノ御話ハ團體ニ於ケル自治監査ノ趣旨ニ於ケル御尋ネカト存ジマスガ、自治監査ノコトハ從來カラ御承知ノヤウニ、産業組合監査聯合會ト云フ法人ガゴザイマシテ、之ニ對シテ政府モ助成ヲ致シマシテ、産業組合ニ於ケル自治監査ヲヤラシテ居リマスガ、此ノ團體ハ今後モ存續致サセル考ヘデゴザイマスノデ、自治監査ノ仕事ハヤハリ從來通り、或ハ名稱ハ變ルカモ知レマセヌケレドモ、産業組合監査聯合會ノ方デ致シマスノデ、今度ノ系統團體方面ニ於テハ、其ノ仕事ハ致サナイコトニ相成ル筈デゴザイマス
ソレカラ次ニ農業者ト農業者ニアラザル

者トノ會員關係ガ、地方町村ノ實情ニ依ツテハ、比較的其ノ農業者ノ少數ノ場合ガアル、其ノ場合ニ付テノ方針ハドウデアアルカト云フコトデゴザイマス、大體ニ於キマシテ農林省ト致シマシテハ、主トシテ農會、産業組合其ノ他ノ團體デアリマスガ、現存ノ團體ハ其ノ儘併行致シマシテ新ナル農會ヲ作りタイト云フ風ニ考ヘテ居ルノデアリマス、併シナガラ町村ノ實情ニ依リマシテハ、其ノ一般の方針ヲ其ノ儘實行スルコトモ實體ニ副ハナイヤウナ場合モアリハシナイカトモ考ヘルノデアリマシテ、斯様ナ場合ニ付キマシテハ尙ホ能ク實體ニ即スルヤウニ致シテ參リタイト考ヘテ居リマス
次ニ郡支部長ヲ理事トシタ、是ハ會長ノ統制ニ支障ハナイカ、何故ニ理事トシタカト云フ御話デゴザイマスガ、苟クモ府縣農會ニ於キマシテ、郡市ノ區域ニ互ツテ支部ヲ設ケテ、其處ニソレレノ謂ハバ責任者ヲ設ケル以上ハ、其ノ郡ノ支部ノ仕事ト云フモノモ、農會關係ニ於キマシテ中々重要ナ仕事デゴザイマスノデ、其ノ責任者ハヤハリ相當ナ團體トシテ待遇ヲ圖ル必要ガアラウト云フ風ニ考ヘラレマスカラ、之ヲ此ノ制度ニ於キマシテハ府縣ノ農會ノ理事トシテ待遇スベキモノト、立案致シタヤウナ次第デゴザイマスガ、併シ郡支部長ノ仕事ハ申スマデモナク郡支部ヲ擔當スルノデアリマスカラ、ソコニ自ラ仕事ノ間ニモ制限ガアラウカト考ヘラレマスノデ、是ガ爲ニ會長、詰リ府縣農會ノ會長ノ當該農會ノ事業運営ノ上ニ於ケル統制ニ支障ガ起ルモノトハ考ヘテ居リマセヌト共ニ、今申シマシタヤウニ左様ナ責任アル地位デア

リマスカラ、郡支部長ハ理事程度ノ待遇ヲスルノガ適當デアラウ、斯様ニ考ヘタ次第デアリマス

ソレカラ次ニ府縣農業會ノ設立ノ場合ニ於ケル設立委員ノ任命ハ、農林大臣デアルカドウカト云フ御質問デゴザイマシタガ、ソレハ左様デアリマシテ、農林大臣ノ任命ノ積リデ居リマス

○森部委員 大體ハ了承致シマシタガ、重ネテ二、三付キマシテ御尋ネ致シタイト思ヒマス、農事實行組合ノ團體加入若シクハ養蠶實行組合ノ團體加入ハ、只今次官ノ御説明ニ依リマスト、當初産業組合ニ農事實行組合ノ團體加入ヲスル時ニハ、早く言ヘバ出資ヲ引受ケ得ルニ容易ナラシメル爲ニヤツタノダト云フ御言葉ノヤウニ承リマシタ、私ハ現實ノ農事實行組合ガ今日農村ニ於ケル第一線ノ實行部隊トシテ、凡ユル農業ニ關スル仕事ヲ擔當實行シテ居ル建前カラ致シマシテ、何トシテモヤハリ市町村農業會トノ繋ガリヲ鞏固ニスル觀點カラ致シマシテモ、團體加入ヲ認メタ方ガ宜イノダ、ソレデ所謂市町村農業會ニ協力シテ旺盛ナル活動ヲ期待スルコトガ出來ルト固ク信ジテ居ルノデアリマス、是ハ希望カモ知レマセヌガ、私ハ是非團體加入ノ必要ヲ認メテ居ルノデアリマス、此ノ機會ニ御尋ネ致シタイノハ、只今ノ御提案ニナツテ居ル法令ノ通りデアルトスルト、新タニ町村農業會ヲ設立スル場合ニ於テハ、現ニ産業組合ノ會員トシテ加入シテ居ル農事實行組合ハ脱退シナケレバナラスコトニナルト思ハレマスガ、其ノ場合ニ於テハ産業組合ハ持分ノ拂戻或ハ其ノ他債務、貯金ダトカ、貸付金ダトカ云フモノハ一應清算シテ脱退スベ

キ手續ヲ執ルノデアリマスカ、ドウ云フヤウニナリマスカ、事務的方面ノコトヲ御尋ネ致シタイト思ヒマス

ソレカラ支部ノ問題デアリマスカ、私ノ考ヘハ適地適應ノ獎勵ヲスルト云フ建前カラ言ヒマシテモ、郡區域ノ農業ニ關スル郡農會、或ハ養蠶組合、畜産組合等、郡區域ノ團體ヲ存續サセタ方ガ宜イト云フ考ヘヲ持ツテ居リマシタガ、不幸ニシテ私ノ希望ハ達セラレズ、郡ノ支部ト云フコトニナツテ居リマスカ、現在郡ノ團體一例ヲ申上ゲマスト例ヘバ畜産組合ガ家畜ノ市場ヲ持ツテ居ル、或ハ郡農會ガ農場ヲ持ツテ居ルニ色々ナ郡區域ノ農業團體ガ現ニ財産ヲ持ツテ居ルノデアリマスカ、ソレ等ハ今度ノ統合ニ當ツテ縣ノ農業會ニ其ノ所有權ハ歸屬スルコトニナルト思ヒマスカ、果シテサウデアリマスカ、サウ云フ場合ニ於テ、先刻總務局長ノ御答辯ノ中ニ、今後ノ事業ハ支部ダケニ特別ナル賦課ヲ命ジテ特別ナル豫算、特別會計ト云フヤウナモノヲ設定スルト云フ御方針ト承リマシタガ、郡支部ノ支部ヲ區域トスル特別會計ノ豫算ノ議決ハ、縣ノ農業會ノ總會若シクハ總代會ニ於テ其ノ豫算ハ議決スル積リデアリマスカ、其ノ支部管内ノ町村農業會ノ意向ヲ何等カノ形ニ於テ現ハスコトガ出來ルヤウナ方途ガ講ゼラレルノデアリマスカ、支部管内ノ町村農業會ノ所謂發言權ト云フモノハ全然ナク、縣ノ農業會ノ總代會若シクハ總會ニ於テ郡支部ノ特別會計ト云フモノノ會計豫算ハ議決シ得ルコトニナリマスカ、其ノ邊ノ取扱ヲ御尋ネ致シタイト存ジマス

御意向ハ分リマシタガ、殊ニ次官ノ御答辯デハ純農村ニ於テ適當ナル町村長ノ場合ヲ前提トシテ御述ベニナツタヤウデアリマスカ、純農村ニ於テ適任者デアアル場合ニ於テハ町村長ハ兼任モ亦已ムヲ得ナイカト思ヒマスカ、先刻申上ゲマシタヤウニ、段々時局ガ進ムニ從ツテ町村長トシテノ事務其ノ他儀禮的方面ノ色々ナ仕事ガ大變複雑ニナツテ來テ居リマシテ、町村農會ノ會長トシテノ仕事モ今度ノ統合ニ依ツテ一層其ノ繁劇ヲ加ヘマスノデ、先刻申上ゲマシタヤウニ出來得ル限り町村農業會ノ會長ハ適任者ヲ得ル限り專任者ヲ得テ常任トシテ陣頭指揮ヲサセルヤウニ、サウ云フ指導方針ヲ以テ進マレルヤウニト云フ希望ヲ持ツテ居リマスカ、今ノ二、三點ニ付テ重ネテ御見解ヲ承リタイト思ヒマス

○重政政府委員 御質問ノ第一點ノ農事實行組合ノ問題デアリマスカ、御述ベニナリマシタ通りニ現在産業組合ニ加入ヲ致シテ居リマス農事實行組合ハ、新農業團體ガ設立ヲ致シマスト、或ル期間以後ニ於キマシテハ脱退ヲ致スコトニナルノデアリマス、隨ヒマシテ持分ノ拂戻等ノ問題ハ其ノ際ニハ御説ノ通り起リマス、但シ先程モ次官カラ申述ベマシタヤウニ、農事實行組合ハ新團體ニ加入ハ致シマセヌガ、貯金、貸付其ノ他ノ經濟的ノ事業及ビ農事統制ニ關係致シマス事業ニ付キマシテハ、新農業團體ノ統制ニ服シ協力ヲ致スト云フコトヲ法令ニ依ツテ規定ヲ致シテ居リマスノデ、實質的ニハ何等現在ノ活動ノ範圍ト變リハナイノデアリマス、隨ヒマシテ現在産業組合カラ借入金ガアリマス農事實行組合ニ於キマシテハ、其ノ借入金ヲ直チニ支拂ハナケレバナ

ラスト云フヤウナ事情ハ起ラナイノデアリマス、更ニ現在借りテ居ラス農事實行組合デアリマシテモ、將來ハ金ヲ借リルコトハ是ハ現狀ト同様ニ出來ルノデアリマス、其ノ他一般ノ事業ニ付キマシテモ同様デアリマス

ソレカラ第二點ノ、現在郡ノ團體デ家畜市場デアリマストカ其ノ他ノ財産ヲ持ツテ居ルモノガアルガ、サウ云フ財産ハ縣ノ團體ニ其ノ所有ガ移ルノデアアルカト云フ御質問デアリマス、是ハ形式的ニハ左様ニ相成ルコトト考ヘルノデアリマス、但シ其ノ財産ノ管理及ビ利用ニ付キマシテハ、現在ノ郡團體ニ於テ所有ヲ致シテ居リマス狀態ト同様ナ關係ヲ持タセタイ、斯ウ云フ考ヘヲ持ツテ居ル郡ノ支部ニ於キマシテ、其ノ財産ヲ管理シ、或ハ其ノ財産ノ利用ヲ優先的ニ致スト云フヤウナコトヲ認メテ行キタイ、斯ウ云フ風ナ考ヘヲ持ツテ居ルノデアリマス

ソレカラサウ云フヤウナ特殊ノ郡ノ支部ニ付テノ豫算等ニ付テハ、其ノ郡ダケデ何トカ議決ヲ致シテ實行ニ移スコトガ出來ナイカト云フヤウナ御質問ノヤウニ承ツタノデアリマスルガ、是ハ一應ヤハリ縣ノ豫算ノ一部トシテ縣團體ニ於テ形式的ニハ議決ヲ致サナケレバナラスト現在ノ所デハ考ヘテ居ルノデアリマスルガ、先程モ石坂委員ノ御質問ニ御答ヘ申上ゲマシタヤウニ、第三十二條等ニ依リマシテ、形式的ニハ縣團體ノ議決ヲ經ナケレバナリマセヌガ、實質的ニハ其ノ地方ノ事情ニ即應致シマシテ、特別ナル賦課金等モ賦課シ得ルト云フ制度ヲ認メテ居リマスノデ、是等ノ點ハ實質的

ニハ支障ノ起ラスコト考ヘテ居ル次第デアリマス

○森部委員 大體了承致シマシタガ、今ノ總務局長ノ御答辯ノ中デ、現ニ産業組合ノ組合員デアル農事實行組合ガ、今度ノ新タナル農業團體ヲ設立シタ場合ニ於テ、貸付金若シハ貯金等ハ其ノ儘ハ新團體ニ引繼イデヤル、但シ脱退ハ或ル期間ヲ經テシナケレバナラヌノデ、其ノ際持分ノ拂戻シハ當然起ツテ來ル事柄デアル、斯ウ云フ御答辯ト承リマシタガ、其ノ或ル期間ト云フノハ一體下ノ位ノ期間ヲ指サレテ居リマスカ、其ノ點ヲモウ一度重ネテ御尋ネ致シマス

ソレカラ今ノ郡支部ノ特別會計ト云フ豫算ハ、縣ノ農業團體ノ所謂豫算ノ一部デアリマスカラ、縣ノ農業團體ノ總會、若シハ總代會ニ於テ議決スルヨリ外ニ方法ハナイト思ヒマスガ、斯ウ云フ風ニ了承シテ差支ヘナイカ、其ノ點ヲ重ネテ御尋ネ致シマス

○重政政府委員 成ベク農事實行組合ノ脱退ヲ致シマスルニ付キマシテモ、其ノ持分ノ拂戻シ等ノコトガ起ラナイヤウニ、其ノ出資組合員ニ譲渡シヲ致サシメルト云フヤウナ色々ナ方法ヲ講ジマシテ、現實ノ問題トシテ持分ノ拂戻シ等ガ起ラナイヤウナ指導ヲ致シタイト考ヘテ居リマスノデ、其ノ間ヤハリ相當ノ期間ガ必要デアルト考ヘテ居ルノデアリマス、只今ノ所ハツキリ之ヲ一年トカ六箇月ト云フヤウニハ考ヘテ居リマセス、要ハ只今申上ゲマシタヤウナ指導ヲ致スニ十分ナル期間ヲ必要トスルト考ヘテ居ルノデアリマス、ソレカラ第二點ノ議決ノ問題デアリマスガ、是ハヤハリ縣團體ニ於

テ、形式的ニハ議決ヲ附サナケレバナラヌ、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス

○石黒政府委員 先程重ネテ森部委員カラ市町村長ト團體長トノ兼務關係ニ付テノ御尋ネガゴザイマシタガ、必ズシモ私ハ純農村ト限ツテ申シタ譯デハゴザイマセヌガ、要シマスルニ、諸般ノ事情ガ適當デアル場合ニ於テ兩者ヲ兼サセテ、眞ニ農業團體ノ健全ヲ發展ヲ圖リタイ、斯様ニ考ヘテ居ル譯デアリマス、ソレデ會長ノ常勤專任ト云フコトニ付キマシテハ、必ズシモ其ノ點ヲ強調シテ考ヘルト云フコトニハ致シテ居リマセヌノデアリマス、唯先程申シマシタヤウニ農業團體長ノ責任ト云フモノハ、愈々非常ニ加重セラレテ參リマスノデ、實際問題ト致シマシテ、農業團體長其ノ人ガ常勤ガ出來ナイヤウナ場合ニ於キマシテハ、從來モ例ガアルコトデアリマスガ、ヤハリ團體長ノ所謂身替リニナツテ團體ノ仕事ヲ執ルコトノ出來ルヤウナ人ノアルコトガ、必要デハナイカト云フ風ニ考ヘテ居ル譯デアリマス

○東郷委員長 加藤知正君

○加藤知正委員 加藤知正君

○加藤知正委員 加藤知正君

加藤知正君

○加藤知正委員 加藤知正君

加藤知正君

ハ蠶絲統制株式會社ニヤラセテモ又之ヲ道府縣ニヤラセテモ宜イデハナイカト云フ考ヘヲ持ツテ居ル者モアルノデアリマスガ、併シ此ノ農業團體法ガ制定セラレマシタ結果トシテ、サウ云フヤウナ關係ハドウナルノデアルカ、此ノ點ヲ一ツ御伺ヒ申上ゲタイト思フノデアリマス

○石黒政府委員 中央農業會ニ於キマシテハ、養蠶關係ノ部門トシテハ、從來ノ全國養蠶業組合聯合會ノ事業ノ如キモノヲ大體繼承致シマシテ、要シマスルニ養蠶業ニ對スル中央トシテノ指導施設ヲ附シテ參ルコトニナル譯デアリマス、從來カラ此ノ蠶絲關係ニ於キマシテハ、全國養蠶業組合聯合會ノ指導的ノ仕事モアリマスシ、蠶絲統制會社其ノ他ソレノ部門ガアル譯デアリマス、大體ニ於キマシテ今申シマシタヤウニ、中央農業會ハ養蠶業關係ニ於テ、全國養蠶業組合聯合會ヲ此ノ中ニ包攝スルコトニナリマスノデ、大體ソレニ依ツテ二、三關係會社或ハ團體トノ關係ハ、御諒承願ヘルカト思フノデアリマス、蠶絲業全般ニ互ツテ、將來如何ニ進ムベキカト云フヤウナ事柄ニ付キマシテハ、又自ラ別途考究スベキ問題モアラウカト存ズルノデアリマス、差當リノ關係ハ左様ノコトニ考ヘテ居ルノデアリマス

○加藤知正委員 蠶絲統制株式會社ガ指導員ヲ置イテ指導シタイ、或ハ製絲家ガ指導員ヲ置イテ指導シタイト云フヤウナ希望ヲ持ツ場合ニハ、ヤハリ之ヲヤラセルト云フ御考ヘナノデスカ、絕對ニヤラセナイト云フ御考ヘナノデスカ、其ノ建前ハドウ云フ風ニセラルル考ヘデアリマスガ

○石黒政府委員 只今ノ御質問ニ對シテ御

答ヘ致シマス、是ハ別途蠶絲業界ニ於キマシテ、最近ニ於ケル蠶ノ減產其ノ他ニ對處スル方策トシテ、色々論議サレテ居ル問題ノ一ツデアリマス、別段團體ノ機能ニ付テノ性質上ノ問題デハゴザイマセヌト私ハ存ジマスガ、團體法ト致シマシテ、蠶絲業界ニ於ケル現在ノ問題ニ付テ、此ノ團體法ノ關係カラ性質上ドウダト云フヤウナコトハ、實ハマダ考ヘテ居リマセヌノデアリマス

○加藤知正委員 此ノ點ニ付テマダ御考ヘガ付イテ居ラヌト云フコトデアレバ、此ノ上御尋ネ致シマシテモ無理カト考ヘマスカラ、此ノ問題ハ、又後日御尋ネ申上ゲルコトニ致シマシテ、蠶絲業組合法ノ第十六條乃至第十八條ガ削除セララルコトニナルノデアリマスガ、私ハ此ノ事ニ付テ御尋ネシタイト存ジマス、ソコデ此ノ蠶絲業組合法ノ第十六條ニハ「養蠶業組合其ノ目的ヲ達スル爲メノ事業ヲ行フ」トアリマシテ、「蠶品種ノ統一ニ關スル施設、二養蠶業ノ指導獎勵ニ關スル施設、三蠶ノ検査ニ關スル施設、四蠶ノ取引方法ノ改善ニ關スル施設、五蠶病ノ豫防ニ關スル施設、六養蠶業ニ關スル研究及調査、七養蠶業ニ關スル紛議ノ調停又ハ仲裁、八前各號ニ掲グルモノノ外養蠶業ノ改良發達及統制ヲ圖ルニ必要ナル施設」斯ウ云フコトヲ養蠶業組合ハヤツテ居ツタ譯デアリマス、所ガ此ノ農業團體ニ養蠶業組合ガ統合セラルルコトニナリマス、其ノ結果トシテ是ガ削除セラルルコトニナル、サウスルト是等ノ仕事ハ今後はハ何處デヤルカ、郡支部デヤルコトニナルノカ、或ハ道府縣デヤルコトニナルノデアリマスガ、ソレヲ一寸御伺ヒシタイノデアリマス

○石黒政府委員　大體ニ於キマシテ從來地方ニ於ケルソレゾノ段階ノ養蠶業組合ニ於テヤツテ居リマス仕事ノ分野ト云フモノ

提出セラルル以上、左様ナコトハ既ニハツキリト決ツテ居ルコトト考ヘマシテ、御尋ネシタ譯デアリマス

○石黒政府委員　御尋ネデゴザイマスガ、其ノ場合ニ付キマシテハ、勿論養蠶者ハ農家デアリマシテ其ノ意味ニ於テ養蠶實行組

○石黒政府委員 町村農業會ト養蠶實行組
合トノ間ニハ加入關係ハ成程ゴザイマセヌ
ケレドモ、今回ノ統合セラレマシタル市町

ハ、ヤハリ郡ノ段階ニ於テヤルノガ適當ナル場合ハ、郡ノ段階デヤツテ居リマスルシ、或ハ縣ノ段階ニ於テスルコトガ適當デアル場合ハ、自ラ縣ノ段階デヤルト云フヤウナ風ニ、ソコニ性質上必ズシモ郡デナケレバナラス、縣デナケレバナラスト云フコトハアリマセヌケレドモ、實質上ニ於テ左様な風ニナツテ居ルヤウニ存ズルノデアリマ스가、左様な實情ニ基ク縣ナリ、或ハ郡ナリノ段階ノ仕事ノ分ケ方ト云フモノハ、ヤハリ今後ノ農業會ニ於キマシテモ、地方ノ實情ニ即スルヤウニ仕事ハ進メテ參ラナケレバナリマセラヌカラ、大體ニ於テ同じヤウニ行クベキモノデハナカラウカ、斯様ニ考ヘルノデアリマス

○石黒政府委員　從來ノ郡ノ養蠶業組合デヤツテ居リマスルコトハ大體郡支部デヤル、ソレカラ府縣ノ養蠶業組合デヤツテ居ルコトハ府縣ノ農業會デヤル、斯様ニ御諒承戴イテ結構デアリマス、從來カラヤハリ養蠶業組合ノ場合ニ於キマシテモ、郡ノ養蠶業組合デヤツテ居ルコトヲ、或ル地方ニ於キマシテハ地方ノ養蠶業者ノ總意ニ依ツテ縣ノ養蠶業組合聯合會ノ仕事ニ變ヘタ場合モアリマスシ、或ハ縣ノ聯合會ノ仕事ヲ郡ノ養蠶業組合ニ變ヘタ場合モゴザイマシテ、左様ナ移動ハ實際ノ必要ノ場合ニ於テ自然ニ起ツテ來ルト思ヒマスケレドモ、其ノ結合ニ依ツテソコニ變化ヲ起スト云フコトハナイノデアリマス

ス
合ノ組合員タル純養蠶者ガアリマシテモ
ソレハ農業會ニ當然加入ニナルノデアリマ
ス
○加藤(知)委員 サウスルト商家ガ養蠶ヲ
ヤレバ農業者デアル、ソレハ當然市町村農
會ニ加入スベキモノ、斯ウ云フコトニ解釋
シテ宜シイノデアリマスカ
○石黒政府委員 養蠶ヲヤツテ居リマスレ
バ左様デゴザイマス、唯先程問題ニナリマ
シタヤウニ、或ル規模以下ノ非常ナ少量ノ
モノヲヤツテ居ル者ニ付テノ例外ト云フモ
ノハアリ得ルト思ヒマス、一般のニハサウ
デアリマス
○加藤(知)委員 今此ノ資料ヲ見マスルト
蠶糸業組合法ノ「第二節養蠶業組合」トアルノ

村農業會ト云フモノハ、苟モ農業關係ニ於ケル市町村ニ於ケル責任團體デアリ、一ツノ有力ナル團體デゴザイマス、ソレデ從來ノ産業組合のナ仕事モ包攝致シマスシ致シマスノデ、實際問題ト致シマシテハ、其ノ町村内ニ於ケル農業關係ノ——勿論其ノ中ニハ養蠶ヲ含メテノ農業關係デアリマスガ、農業關係ノ養蠶實行組合ノ如キ團體、是ハモウ自然ニ緊密ナル連繫ヲ執ツテ相互ニ相協力シテ行クモノト考ヘラレルノデアリマス、資金關係其ノ他ニ付テノ問題デアルトカ、其ノ他又此ノ團體法ニ依リマシテ協力命令、統制命令等ノ必要ナル場合ニハサウ云フ命令ニ依ツテ、兩者ノ間ノ連繫ヲ付ケル途モアリマスシ致シマスガ、併シ實際問題

○加藤知委員　今ノ第十六條ノ各施設ハ、
是マデハ養蠶業組合其ノモノガヤルト云フ
コトガハツキリ決ツテ居タ譯デアリマス、
デアルカラ農業團體法ニ此ノ養蠶業組合ガ
統合セラルル結果トシテ、サウ云フコトハ
郡支部ニヤラセルトカ、道府縣ニヤラセル
トカ、大體ニ於テ既ニ其ノ方針ハ決シテ居
ラナケレバナラヌヤウニ考ヘル、其ノ仕事
ニ依ツテ或ハ道府縣ニヤラセルノモアルダ
ラウシ、或ハ郡支部ニヤラセルコトモアル
ダラウト云フコトヲ仰シヤツタガ、ソレハ
如何ニモサウデアルカモ知レマセヌガ、併
シナガラ道府縣ニ對シテハ如何ナル仕事ヤ
ラセル、又郡支部ニハ如何ナル仕事ヲヤ
ラスト云フヤウナコトハ大體決ツテ居ラマ
スデゴザイマスカ、左様ナコトハマダ未定
ナノデアルノデアリマスカ、茲ニ本法案ヲ

○加藤(知)委員 更ニ第三ニ御尋ネ申上
タイコトハ養蠶實行組合ノコトデアリマス
ガ、先刻農事實行組合ニ付キマシテ色々ト
御尋ネガアリマシタカラソレト重複スル點
ヲ避ケマシテ御尋ネヲ申上ゲテ見タイト思
ヒマス世間ニハ普通農事ヲヤラナイデ、養
蠶ダケヲヤツテ居ル者モ相當アルノデアリ
マス、ソレヲ養蠶ハ即チ農業デアルト云フ
見解ヲ下セバ農業者トシテ當然此ノ市町村
農業會ニ加入セナケレバナラヌコトと思
マスガ若シソレガ農業者ニアラズトシテ市
村農業會ニ加入サセナイト云フコトニナリ
マス、養蠶實行組合員トシテ働クヨリ外
ニ方法ハナイコトニナツテ、其ノ場合ニ色
色不利益ナコトガ起リハセヌカト想像ス
ノデアリマスガ、此ノ點ヲ一ツ伺ヒタイ
存ジマス

此ノ養蠶實行組合ハ此ノ農業團體ニ加入シ
ヨウトセマイト任意ト云フコトニナツテ民
ルノデアリマス、左様致シマスト其ノ市町村農
業會デ色々養蠶業ノ計畫ヲスル場合ガアルモ
ノト見ナケレバナリマセヌ、又養蠶實行組
合ニ於テ色々仕事ヲ計畫ヲスル場合ガアラ
ウト思ヒマスガ、兩者ノ關係ト云フモノ
ガ時ト場合ニ依リ圓滿ニ行カナイヤウナコ
トガナイトモ限ラスヤウニ想像セラルル
デアリマシテ、且ツ平地ニ波瀾ヲ起シ、無
用ノ摩擦ヲ起サシムルト云フコトハ甚ダ宜
クナイト思フノデアリマスカラ、ヤハリ何
意ニ之ヲヤラシテ置クト云フコトヨリモ常
然加入ト云フコトニスル方ガ宜イヤウニ考
ヘラレマスガ、其ノ點ハ如何デアリマセ

ト致シマシテハ、ソコマデ行カナクデモ、事實連繫ハ十分ニ執レテ、相共ニ其ノ町村内ニ於ケル農業ノ發展ニ努メテ行クコトト信ジテ居ルノデゴザイマス

○加藤(知)委員 私マダ色々御尋ネシタイコトモアリマスケレドモ、曩ニモ申上ゲマス通り關聯事項ニ互ルコトガ多ク殊ニ大臣ニ對シテ御尋ネヲ申上ゲタイト思ヒマスカラ、私ノ質問ハ其ノ點ヲ保留シマシテ是デ打切リタイト存ジマス、委員長ハ何卒後デ其ノ機會ヲ御興ヘ下サルヤウニ希望致シマス

○東郷委員長 本日ハ此ノ程度デ散會致シマス